

山形新聞

夕刊

2011年(平成23年) 3月26日 (土曜日)



仙台の施設に 入浴車を派遣

鶴岡の山形虹の会

鶴岡市の社会福祉法人山形虹の会(秋田谷博理事長)は23日、東日本大震災で被災した仙台市宮城野区の高齢者福祉施設「宮城野の里」に、訪問入浴車などを派遣した。写真。

同会は以前から宮城野の里と交流があり、被災後には2度にわたり支援物資を贈っている。同施設では、現在も方

で、入浴できない状態のため、同会でお年寄りを手助けしようとして、訪問入浴車を派遣することにした。

貯水タンクやボイラー、専用の浴槽を備え付けた訪問入浴車と、コメ約30キや燃料用のまきを積み込んだワゴン車の計2台で鶴岡市内を出発。訪問入浴車は、ガスの供給が再開されるまで貸し出す予定で、同会の介護福祉士と看護師が同施設のスタッフに使用方法を指導する。

東日本大震災支援

報 日 報

2011年(平成23年)3月23日(水曜日)

▽社会福祉法人山形虹の会(鶴岡市、秋田谷博理事長)は22日、社会福祉法人宮城厚生福祉会(仙台市宮城野区)へ訪問入浴車両と介護福祉士、看護師各1人の派遣を決定。これまでも2回、米や水などの食料品、マスク、衛生用品などの救援物資を送っている。23日午前に燃料用まきを積んだ車と計2台、4人で出発し、25日まで滞在予定。入浴車両は当分の間、置いておく。